



“地域に寄り添い、安心をつなぐ” 民生委員・児童委員の活動

小林 明美氏

平成18年より国立市民生委員・児童委員として、子どもから高齢の方まで幅広い世代に寄り添い、地域住民の相談に応じながら、関係機関と連携し支援につなぐ活動を行っています。地域の身近な存在として活動を続け、安心して暮らせる地域づくりに努めています。

民生委員・児童委員について教えてください

民生委員・児童委員は、厚生労働大臣から委嘱を受け、地域福祉の向上に取り組みボランティアです。地域の身近な相談相手として、子どもから高齢者まで幅広い世代に寄り添い、必要な福祉サービスをつなぐなど、市役所や関係機関と住民を結ぶ「地域のつなぎ役」を担っています。

民生委員・児童委員についたきっかけを教えてください

所属する自治会の役員の方から推薦を受けたことがきっかけです。地域のためにできることがあればとの思いから、お引き受けしました。

活動している中で意識している事を教えてください

民生委員の役割は「福祉」であり、「正義」ではないということに常に心に留めています。目の前に困りごとを抱えている方がいれば、その背景や経緯を問わず、どうすれば不安や負担を少しでも和らげられるかを一緒に考えることを大切にしています。善悪を判断したり責めたりせず、まずは寄り添い、話を丁寧に聴く姿勢を心がけています。

活動を通して印象に残っている事を教えてください

長年ひきこもり状態にあった男性が、突絶訪ねて来られ、「母が亡くなりました。困ったことや分からないことがあったら小林さんに聞きなさい」と言われていました」と話して下さったことが強く印象に残っています。そのお母さまとは、民生委員になる前から時折お会いしていました。信頼を寄せていただいていたこと、そして親子の思いをつなぐ存在になれていたことに胸が熱くなりました。長く見守ることの大切さを実感した出来事です。

今後の民生委員・児童委員について教えてください

現在、再雇用制度の広がりなどにより、高齢になっても就労を続ける方が増え、民生委員・児童委員の担い手不足は深刻化しています。市役所や社会福祉協議会が主催する行事などについては、単発で協力できる市民の方の力を積極的に取り入れ、委員の負担軽減を図ることが必要だと考えます。

その他、ございましたらお願いします

真面目で、誠実で、とつても楽しい仲間と一緒に、福祉活動してみませんか。



▲国立市社会福祉協議会「かるがも部会」



▲高齢者「健康教室」

今、貴方のお住まいの地域で民生委員・児童委員が欠員になっているかもしれません。まずは、市役所福祉総務課（地域福祉推進係）へお問い合わせください。